

びょうきとワクチンシリーズ

おたふくかぜ

[ムンプス・流行性耳下腺炎]

びょうきとワクチン

監修／菅 秀 先生(独立行政法人国立病院機構三重病院 副院長)



Vaccine

医療機関名

おたふくかぜ(ムンプス・流行性耳下腺炎) ってどんな病気?

❁ ひ まつムンプスウイルスの飛沫感染(※)で起こります。
(※)「近く」にいる人からの飛沫(咳や会話で飛び散るしぶき)で感染する病気

❁ 潜伏期は2~3週間で、主要症状は耳下腺じ か せん しゅ ち ょ うの腫脹で、
が く か せん ぜ っ か せん しゅ ち ょ う顎下腺、舌下腺が腫脹することもあります。また発熱を
伴うこともあります。

❁ まわりの人にウイルスを感染
させる期間は、発病数日前から
じ か せん しゅ ち ょ う耳下腺腫脹開始後5日までです。

❁ が っ べ い し ょ う主な合併症としては無菌性髄
む き ん せい ず い
ま く え ん の う え ん す い え ん な ん ち ょ う膜炎、脳炎、膀胱炎、難聴があり、
こ う がん え ん思春期以降の男性では睾丸炎
も見られます。

❁ なん ち ょ うおたふくかぜによる難聴の多く
は片側ですが回復が困難です。



おたふくかぜワクチンを 接種する年齢は？

- 1歳以上であれば、任意接種として接種できます。(定期接種ではありません。)
- おたふくかぜにかかると保育園や学校を長期間休まなければならないこと、発病は3～6歳が多いことから、MRワクチン1回目、水痘ワクチン1回目、Hibワクチン1期追加、小児用肺炎球菌ワクチン1期追加などを終了した後、できるだけ早期(1歳)に接種することがすすめられます。

- 2回の接種がすすめられています。(※)

(※) 日本小児科学会「知っておきたいわくちん情報」より引用一部改変



ワクチンを接種する前の注意点

- 接種当日は朝からお子様の様子をよく観察し、普段と変わったところがないかを確認するようにしましょう。
- 母子健康手帳と記入済みの予診票を必ず持参しましょう。
- お子様の日頃の健康状態をよく知っている保護者が付き添うようにしましょう。
- ご心配な点がありましたら、医師またはお住まいの市町村にご相談ください。
- 妊娠をしている女性および妊娠している可能性がある女性はワクチンを受けることができません。妊娠可能な女性の場合ワクチン接種前1ヵ月間と接種後2ヵ月間は妊娠を避ける必要があります。

ワクチンを 接種したあとは？(副反応)

- ✓ 予防接種を受けた後30分以内に、まれに急な副反応が起こる場合がありますので、お子様の様子をよく観察してください。接種後30分程度は医療機関またはその近くにいるか、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。



- ✓ 接種後4週間は副反応の出現に注意しましょう。
- ✓ 接種部位は清潔に保ちましょう。接種当日の入浴は可能ですが、接種部位をこすることはやめましょう。
- ✓ 接種後は普段どおりに生活ができますが、接種当日ははげしい運動は避けてください。
- ✓ 接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
- ✓ **おたふくかぜワクチンの副反応**
 - 副反応の主なものは接種部位の発赤、腫れです。接種後20日前後に発熱や耳下腺の腫れが見られることがあります。また、まれにショック、アナフィラキシー、無菌性髄膜炎、急性散在性脳脊髄炎(ADEM)、脳炎・脳症、血小板減少性紫斑病、難聴、精巣炎(睾丸腫大)が起きることがあります。
 - 無菌性髄膜炎の副反応報告頻度は接種2,000～20,000例に1例程度とされています。



武田薬品工業株式会社